

5月9日（土）高野町役場前集会 平和行進（高野街道）

日本政府は禁止条約の署名・批准を！



高野町役場前より平和行進出発



観光客が平和行進に参加



市民生協の代表



南木高野副町長

5月9日（土）集会前、波多江さんのバンジョウによる「青い空は」です。参加者全員がいっしょに歌います。波多江さんは3年連続の集会参加です。午後1時となり、役場前での出発集会が始まります。集会は、和商連の寺岡さんが進行します。最初に、伊都実行委員会から中村さんが「国連で核保有国も含めて核兵器の廃絶に向けてNPT再検討会議がおこなわれています。我々の平和行進もそこにむけ後押しになるよう歩いていきましょう」と挨拶しました。県実行委員会からは「和歌山県内の全市町村平和行進は1979年に高野町より出発しました」と平和行進と高野山の深い絆を報告しました。高野町の南木芳亮副町長は「戦争のない平和な社会の実現は、私達ひとり一人の次の世代に継承していく大切な財産であり、その実現に向け不断の努力求められます」と平野町長の前にも働きかけ、一人でも多くの方の声を届くようにしてほしいと話されました。次いで、わかやま市民生協の代表が決意表明をおこない、最後、高野町集会アピールが確認されました。今年も観光客向けに英語でのアナウンスです。街道を歩く多くの外国人の方が笑顔で応えてくれます。手を振り親指を立て、サインを返してくれます。そして、今年は1名の方が平和行進に参加してくれました。英語版の署名用紙には、8名がサインをしてくれました。「平和」への思いは、万国共通です。行進への参加者は、22名でした。事務局